

11月のびびり

栗山町の自然体験活動に学ぶ

町PTA連合会では、子どもたちの健やかな成長を目指すPTA活動の一環として毎年研究大会を開催しています。

10月28日「今、子どもたちの夢と未来を紡ごう」を大会スローガンに掲げ、由仁町で自然体験活動に取り組む高橋慎氏（NPO法人雨煙別学校理事）を招聘し、由仁町での取り組みについて講演していただきました。



ハッピーハロウィン

29日、遠浅と安平の両地区で行われたハロウィンイベント。遠浅の子ども会は、冷たい風が吹きつける中、仮装マラソンとコンテストを実施。一方、安平では、ハロウィン一色に飾り付けられた公民館に魔女やゲーム、アニメのキャラクターに扮した子どもたちが集合。箱の中身を当てるゲームに挑戦し、手に触れた物体の感触を頼りに直感ながら正解を連発。笑い声が響く一日となりました。

備えあれば憂いなし

30日、安平消防秋季総合演習が行われました。それに伴い、ケアハウスサクルでは消防署及び消防団と連携した避難訓練を実施。

火災発生を想定した訓練は、消火のための放水や救護テントに施設利用者を誘導するなど本番さながら。訓練を終えた清水浩明施設長は「実践的な訓練ができて良かった。消防隊員皆さんの素早い対応に心強さを感じた」と話していました。

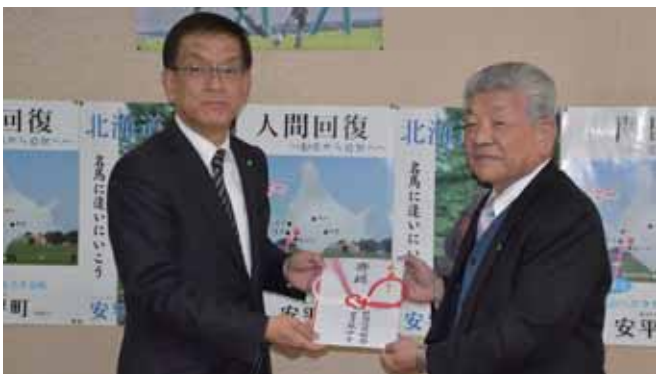


たくさん読んでね

31日、安平ライオンズクラブ（会長 二本末紀氏）からはやきた子ども園へ本の寄贈が行われました。

これまでに、町内の学校への本の寄贈を行ってきましたが、未就学児を対象としての寄贈は今回が初めて。園での読書活動が活発であることを知り寄贈を決めたそうです。

三本会長は「みんなと仲良く読んで、たくさん本に触れてください」という言葉を添え、絵本17冊を手渡しました。



交通安全に役立てて

11月21日、北央信用組合林伸幸理事長が役場早来庁舎を訪問。役員、組合員によって集められた交通安全募金が、瀧町長に手渡されました。

北央信用組合は交通安全運動の取り組みを力を入れており、「交通安全運動など交通安全の啓発に役立てて欲しい」と林理事長。

冬の運転は、スリップや視界不良など危険が伴います。皆さん安全運転へのご協力、よろしくお願いします。